

平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月14日

上場取引所 大

上場会社名 ハイブリッド・サービス株式会社
 コード番号 2743 URL <http://www.hbd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 鳴海 輝正
 (氏名) 池上 純哉

TEL 03-6731-3410

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	5,677	13.4	171	268.1	116	203.9	72	292.4
23年12月期第1四半期	5,007	2.0	46	358.7	38	—	18	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 91百万円 (118.8%) 23年12月期第1四半期 41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	1,492.04	—
23年12月期第1四半期	355.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	7,326	1,620	22.1
23年12月期	7,867	1,554	19.8

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 1,620百万円 23年12月期 1,554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	500.00	—	500.00	1,000.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	500.00	—	500.00	1,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,600	7.6	195	113.8	126	74.5	79	60.2	1,616.37
通期	21,300	0.5	250	133.6	194	178.6	118	247.4	2,414.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成24年5月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	57,319 株	23年12月期	57,319 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	8,444 株	23年12月期	8,444 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	48,875 株	23年12月期1Q	52,230 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想につきましては、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災やタイの洪水の影響から徐々に回復しつつある中、長期化していた円高の是正や欧州債務危機の後退等により景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境は、企業や一般消費者側の節約志向が定着したことにより、消耗品需要が低調に推移し、LED照明につきましても技術面・価格面での競争が激しく、依然厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、新規顧客の開拓を積極的に推し進めるとともに、輸入商品の取り扱いを強化して利益拡大を図ってまいりました。また、物流・業務コストの削減に積極的に取り組み、収益力の向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,677百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益は171百万円（前年同期比268.1%増）、経常利益は116百万円（前年同期比203.9%増）、四半期純利益は72百万円（前年同期比292.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(マーキングサプライ事業)

マーキングサプライ事業は、主力商品であるトナーカートリッジを中心に販売促進強化に努めた結果、売上は好調に推移いたしました。商品区分別の売上高では、トナーカートリッジ2,845百万円、インクジェットカートリッジ941百万円、MRO169百万円、その他売上209百万円となりました。

以上の結果、当事業における売上高は4,165百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は139百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

(環境関連事業)

環境関連事業は、太陽光発電システムの販売が引き続き伸長し、売上が増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は530百万円（前年同期比26.8%増）、営業損失は2百万円（前年同期は営業損失8百万円）となりました。

(ファシリティ関連事業)

ファシリティ関連事業は、大口案件受注により売上が大幅に増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は440百万円（前年同期比265.6%増）、営業利益は66百万円（前年同期は営業利益4百万円）となりました。

(ファニチャー事業)

ファニチャー事業は、輸入家具の売上が好調に推移いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は205百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益は32百万円（前年同期比284.3%増）となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、ラベリング用品の販売が堅調に推移いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は344百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は13万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、売上債権や商品在庫が減少にしたこと等により、前連結会計年度末に比べ541百万円減少し、7,326百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、仕入債務の減少や借入金を返済したこと等により、前連結会計年度末に比べ608百万円減少し、5,705百万円となりました。

また、純資産につきましては、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ66百万円増加し、1,620百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成24年2月14日に公表しました連結業績予想数値を修正しておりますので、本日（平成24年5月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,057,275	2,044,952
受取手形及び売掛金	3,733,534	3,360,520
商品	1,279,981	1,206,281
その他	439,016	443,563
貸倒引当金	△7,390	△10,810
流動資産合計	7,502,418	7,044,507
固定資産		
有形固定資産	11,592	11,682
無形固定資産	11,577	10,965
投資その他の資産		
投資有価証券	6,579	7,963
その他	355,697	318,150
貸倒引当金	△20,490	△67,206
投資その他の資産合計	341,785	258,907
固定資産合計	364,955	281,555
資産合計	7,867,373	7,326,062
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,858,189	2,363,540
短期借入金	1,600,000	2,700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,296,700	172,100
未払法人税等	17,606	10,000
賞与引当金	2,584	16,553
倉庫移転費用引当金	22,475	22,475
その他	217,495	177,559
流動負債合計	6,015,052	5,462,230
固定負債		
長期借入金	245,000	193,200
退職給付引当金	40,779	37,270
その他	12,400	12,500
固定負債合計	298,179	242,970
負債合計	6,313,232	5,705,200

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	628,733	628,733
資本剰余金	366,833	366,833
利益剰余金	1,062,818	1,111,304
自己株式	△475,010	△475,010
株主資本合計	1,583,374	1,631,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,578	△1,691
繰延ヘッジ損益	△19,823	△8,069
為替換算調整勘定	△6,831	△1,236
その他の包括利益累計額合計	△29,233	△10,998
純資産合計	1,554,141	1,620,862
負債純資産合計	7,867,373	7,326,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	5,007,027	5,677,413
売上原価	4,553,668	5,109,778
売上総利益	453,359	567,635
販売費及び一般管理費	406,753	396,081
営業利益	46,605	171,553
営業外収益		
受取利息	486	957
受取配当金	7	4
仕入割引	976	1,141
為替差益	1,872	—
その他	1,531	643
営業外収益合計	4,873	2,746
営業外費用		
支払利息	12,154	9,878
貸倒引当金繰入額	—	39,320
その他	1,044	8,755
営業外費用合計	13,198	57,954
経常利益	38,280	116,345
特別損失		
固定資産除却損	—	175
投資有価証券評価損	381	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,770	—
災害による損失	5,680	—
特別損失合計	8,832	175
税金等調整前四半期純利益	29,447	116,170
法人税、住民税及び事業税	5,244	5,950
法人税等調整額	5,616	37,296
法人税等合計	10,861	43,247
少数株主損益調整前四半期純利益	18,586	72,923
四半期純利益	18,586	72,923

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,586	72,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192	886
繰延ヘッジ損益	19,785	11,753
為替換算調整勘定	2,279	5,594
持分法適用会社に対する持分相当額	824	—
その他の包括利益合計	23,081	18,235
四半期包括利益	41,667	91,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,667	91,158
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マーケティング サプライ 事業	環境関連 事業	ファシリ ティ関連 事業	ファニチ ャー事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,977,589	417,839	120,425	187,941	4,703,796	303,231	5,007,027	—	5,007,027
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,649	—	—	—	5,649	1,316	6,965	△6,965	—
計	3,983,238	417,839	120,425	187,941	4,709,445	304,548	5,013,993	△6,965	5,007,027
セグメント利益 又は損失(△)	119,506	△8,979	4,345	9,556	124,428	△5,005	119,423	△72,817	46,605

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ラベリング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△72,817千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△78,832千円が含まれております。その主なものは報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等にかかる費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マーケティング サプライ 事業	環境関連 事業	ファシリ ティ関連 事業	ファニチ ャー事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,160,126	530,017	440,240	205,007	5,335,391	342,021	5,677,413	—	5,677,413
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,677	—	—	—	5,677	2,599	8,277	△8,277	—
計	4,165,804	530,017	440,240	205,007	5,341,069	344,621	5,685,691	△8,277	5,677,413
セグメント利益 又は損失(△)	139,191	△2,284	66,150	32,166	235,223	13,107	248,331	△76,777	171,553

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ラベリング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△76,777千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△76,777千円が含まれております。その主なものは報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等にかかる費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「ファシリティ関連事業」及び「ファニチャー事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、前第1四半期連結会計期間において「その他」に含まれていた「環境関連事業」については、前連結会計年度において量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。